

環境林整備事業

”環境林”って？

「環境林ってどんな森林？」とよく質問されます。しかし、「環境林」と呼ばれる森林には具体的な定義はありません。では、環境林って何なんでしょう？

日本では戦後の木材需要拡大に伴い、「天然林」を伐採しスギやヒノキなどを植栽する“人工林”を造ってきました。しかし、外材輸入の増大と木材価格の低迷によりせっかく植栽した森林を放置せざるをえない状況になっています。

“人工林”は“天然林”と違い、木が大きくなるにつれ手入れが必要です。“天然林”では、自然に様々な木々が生え競争しているため手入れは必要ありません。“人工林”は放置すると林木の生長を阻害するだけでなく、近年よく言われる森林の公益的機能（水源涵養機能、土砂災害防止機能、炭素固定機能など）も失われていきます。

滋賀県では、そういった放置された人工林を天然林に近い形にしておくことを“環境林整備”としています。

東近江の紹介

現在、東近江振興局管内では4箇所の協定が結ばれ、うち3箇所が完了し、1箇所が進行中です。いずれも車を降りて、

汗をかき息を切らしてようやく現地にたどり着けるという場所にあります。

君ヶ畑町の^{おおきみきしそじんじや}大皇器地祖神社の奥にある事業地は、この管内で最初に取り組んだ事業地です。最初ということで不安な面もありましたが、出来上がりは今後の効果が十分期待できるものでした。

蛭谷地先の事業地はキツイ坂を延々と登る場所ですが、林齢が若いのでより早い効果が期待できます。

九居瀬地先の事業地では林齢が100年を超えているため、中には一抱えに出来ないぐらいの大木もありました。

君ヶ畑町音羽谷地先では70年を超える林齢もさることながら、180haという県下最大の事業地です。1年では事業を完了するのは困難と判断したので3ヶ年で取組ことになりました。



琵琶湖森林づくり県民税 特集！

長寿の森奨励事業

森林所有者等と市町長が協定を結び、現在45～60年生の人工林を長伐期林(1)へ移行させるため、現地での看板の設置や、今後の手入れに必要な歩道・作業道の整備などの作業を行います。平成19年度の協定により、東近江市では625.84ha、日野町では138.09haの森林が長伐期林となりました。

1 長伐期林とは？...標準的な施業よりも、主伐を行う伐期齢(収入を得るために伐採する林齢)を長く取る施業を行う森林です。管内の長伐期林では、スギは70年生、ヒノキは80年生になるまで主伐を行うことはできませんが、伐

期を延ばすことで大径材の生産が可能となるほか、林地や森林生態系を長期間にわたり安定させ、森林の環境保全機能の増進に役立ちます。



間伐材製品等普及PR事業



間伐材を搬出・利用することは森林資源の循環利用と地球温暖化の防止に貢献します。そこで、公共的施設の設置者が公共性の高い施設に間伐材製品

を導入することに対して支援することで、森林づくりにおける間伐材利用の重要性についてPRするための事業です。主要構造部にびわ湖材とその加工品を使用した製品を購入していただくとき、2/3の補助金が出ます。

東近江地域では、東近江市のちよっとバスのバス停ベンチ、日野町の林業センターの会議テーブルとベンチ、近江八幡市のありす保育園の看板などが設置される予定です。

【びわ湖材産地証明制度】

間伐材を主に、県産材であることを証明する制度を普及し、地球温暖化を防止する観点から輸送に伴うCO2排出の低減に貢献している木材であることを消費者に明確に示します。



琵琶湖森林づくり県民税 特集！

みんなで始めよう森づくり活動公募事業

県民が組織するグループなどが行う森づくり、地域材利用、森林環境学習などの活動を支援する事業です。平成19年度は東近江地区で7つの団体が次のような活動を実施しました。(採択要件など事業内容の詳細については、東近江地域振興局森林整備課までお問い合わせ下さい。)



(八幡山の景観を良くする会)



(愛のまちエコ倶楽部)

団体名・代表者	活動内容	連絡先
きぬがさ山の会 代表 渡辺喜良	東近江市五個荘川並町地先きぬがさ山の山麓が活動地域です。山の歩道づくり、間伐・枝打ちの実施などの里山活動を実施しています。	0749-42-3916 (自宅)
永源寺スギファンクラブ 代表 阿野信雄	永源寺産のスギを使ったものづくり、家づくり、町づくりをしようと、山の散策、伐採見学などの活動を行い、都市住民の方との親交を深めています。	0748-29-0452 (自宅)
東老蘇町づくりの会 代表 杉原養一	安土町の老蘇の森で活動をされています。老蘇の森の間伐や枝打ち、間伐材を使った看板の作成など森林整備を行っています。	0748-46-3038 (自宅)
NPO 法人蒲生野考現倶楽部 理事長 森田英二	日野町の鎌掛地先で大学生と共に小屋づくり、笹刈り、植栽また落ち葉かきなどの作業を実施し「里山再生活動」を実践しています。	0748-53-9087 (事務局)
八幡山の景観を良くする会 代表 村西耕爾	近江八幡市八幡山の美しい里山の景観の再生とその保全の仕組みを次世代に伝え残すために、竹の伐採、コナラ林の整備、など様々な活動を行っています。	0748-32-2615 (自宅)
NPO 法人愛のまちエコ倶楽部 理事長 苗村増和	東近江市愛東地域で山の再生事業(里守隊活動)を行っています。立枯れ松の伐採や落ち葉の除去また森林体験学習などを行っています。	0749-46-8100 (菜の花館)
淡海里の家事業協同組合 (風土木の家) 代表 川村勝美	風土木の家は、林業家、製材業者、大工、設計者からなる組合です。地域材を使った手刻みの家づくりを復活させることを目標に、セミナーを開催しています。	0749-45-8117 (事務局)

詳しい活動内容については、各団体にお問い合わせ下さい。

東近江流域森林づくり委員会

～30年後の森林と人との関係をよりよいものとするために～

琵琶湖森林づくり基本計画の基本施策である「県民協働による森林づくり」の推進を目的に、様々な立場の人々が地域の森林・林業について話し合う場として「流域森林づくり委員会」を設置します。

「東近江流域森林づくり委員会」では、30年後の地域の「森林」・「人」・「暮らし」の関係をよりよいものとするために、今、行動できることを議論していきます。

この地域の森林や取り巻く環境について議論をかさね、これからの森林と人の関わり方について提案・行動することを目指します。

東近江流域森林づくり委員会のメンバー

管内で活動されている各団体から推薦いただき、下記の6名が東近江流域森林づくり委員会の委員となりました。そして07年11月末に設立することが出来ました。

- 阿野信雄 永源寺スギファンクラブ。林業従事者
- 池田博昭 淡海里の家事業協同組合
- 井阪尚司 人と自然を考える会
- 藤井絢子 滋賀県環境生協
- 森田英二 蒲生野考現倶楽部
- 吉田正道 平成18年度ワ-クショップ 参加者

(50音順、敬称略)

(議論の進行状況や内容によっては、委員を増やすことも検討しています。)

議論から出てきたこと

- ・検討や提案だけで終わらず「行動」する必要がある。規模は小さくても良いので、継続させる。
- ・ヤマは人を元気にする場。「人が山に入っていくこと」を目指す。
- ・今の商品は大量消費に目が向き、丁寧に対応できていない。職人の『技』を活かす場がほとんど無くなっている。
- ・地域には何らかの『宝物』がある。そこに住む人が気付かないものもある。このような『宝物=地域資源』を活かしたグリーンツーリズムなどを考えられないか。
- ・マチの人の無秩序な山菜採取などは、地域の人たちとの関わりがないことから起こっている。お互いに関わりを持ってもらうためにも地域の人とマチの人が交流する場が必要。『宝物』を交流のきっかけにならないか。
- ・森林が存在するだけでも価値があることを知ってもらいたい。

今後検討していく内容・議題

- ・森林の価値を知ってもらうために、CO2に着目して、東近江地域版のカーボンオフセット・地域通貨の仕組み作りを検討。
- ・地域資源の発掘(宝物探し)と資源を活かしたグリーンツーリズムの企画。日野町の薬草薬樹や永源寺地区の森林文化を中心に発掘、調査をおこなう。

県民協働による森林づくり！

森の資源研究開発事業

県企業や研究機関などの団体が実施する森林資源や森林空間を活用する研究開発を支援します。平成18年度、平成19年度取り組まれた団体は右記表のとおりです。また平成20年度についても公募する見通しです。(採択審査がありません。)(補助率)事業費の1/2(補助金上限額500万円/年)(公募期間・申込み方法)4月から公募を予定しています。✓切や申請書様式など詳しくは滋賀県庁森林政策課振興担当(077-528-3915直通)へお問い合わせ下さい。



(校倉風ログハウスの会(東近江市)
間伐材を利用した校倉風ログハウス



((株)北河技建工業(日野町地先)
改造搬出機による搬出作業

年度	団体名	テーマ名
18・19	NPO 法人 甲賀・森と水の会	滋賀県産中小径木による新しい木造架構システムの開発(18) 滋賀県産中小径木の活用に関する研究～水中処理、熱処理を含む乾燥システムと新しい架構システムの検証～(19)
18	校倉風ログハウスの会	間伐材を利用した校倉風ログハウスの設計・施工・販売
18	淡海里の家事業協同組合	県産材を利用した伝統工法による木造住宅の普及のための標準化の研究
18	すみれの会	森林セラピーに関する研究
18・19	余呉炭焼倶楽部	炭焼窯研究改良：炭焼特産品開発事業
18	株式会社地球の芽 甲賀市信楽森林組合	滋賀県産材を利用したj・Pod 建築システムの実証実験
19	体育施設建設(株) 関西営業所	木材チップ(パークレー)を充填材として使用した人工芝の高温化抑制に関する研究
19	びわこ成蹊スポーツ大学	森林資源を活用したアドベンチャー教育プログラム(FAP)の開発 ～森林が育む子供の豊かな感性～
19	関西産業(株)	いろいろな木質燃料を使用できる暖房装置に関する研究
19	(株)北河技建工業	県内の広葉樹林の利用システムとナラ枯れに関する調査研究

森林環境学習「やまのこ」事業

～次世代を担う子供たちを中心に、森林や環境との関わりをつくる～

目的

森林をはじめとする身近な環境保全活動に理解を深めるとともに、人と人が豊かに関わる力をはぐくむため、学校教育の一環として小学4年生を対象にやまのこ事業の受入施設やその周辺の森林を使った「体験」を重視した森林環境学習をしています。

また小学4年生以外の様々な世代に対しても森林や環境問題に関心と理解を深める活動をすることで、森林づくりの重要性を知ってもらい、森林を支える人づくりを目指します。

受入施設・専任指導員

県下には7施設(平成20年度からは8施設)のやまのこ事業受入れ施設があります。東近江市の「河辺いきものの森」はそのひとつです。受入施設には「専任指導員」が各施設に2名おり、やまのこ事業(森林・環境体験)のプログラム作成や実施、施設の管理などに対応しています。



「河辺いきものの森」では、どんなことを体験できるの？

- ・クイズラリー:河辺の森を一周するもので、季節の自然に触れ、森に慣れ、森に興味を抱かせる。
- ・ネイチャーゲーム:ネイチャーピング、カモフラージュなど。実施後振り返りをおこなうことで、意見の共有や新たな発見を促す。
- ・竹工作:昔は竹を生活用品に活用されていたが、竹林は手入れをしなければ様々な問題を引き起こすことを知ってもらい。切った竹で箆や竹笛などを作成し、その過程でナイフに慣れてもらう。
- ・その他:打合せに応じて出来る限りのプログラムをおこなう。たとえば、冬季は火付け競争を行う学校もある。

平成20年度は？

県下全体では203校 12,840名、河辺の森では20校 989名の参加を見込んでいます。

現場の声(河辺いきものの森)

森には年間を通じてたくさんの小学校などが来訪し、プログラムを実施しているが、やまのこ事業は終日プログラムを組むことができるので、これまでの学校利用よりも中身の濃いプログラムを実施できている。やまのこ事業での来訪をきっかけに、また森に遊びに来てくれる子供たちもいるので、子供たちが森を知るよい機会となっています。

里山リニューアル事業

この事業は、社会情勢の変化によって管理・利用されなくなっている里山を整備して、県民が親しみ利用できる森林として復元するものです。森林所有者さんと市もしくは町が整備方針などを決めて協定を結び、市町が事業を実施します。東近江地域で実施したところを紹介します。

東近江市五個荘川並「きぬがさ山」

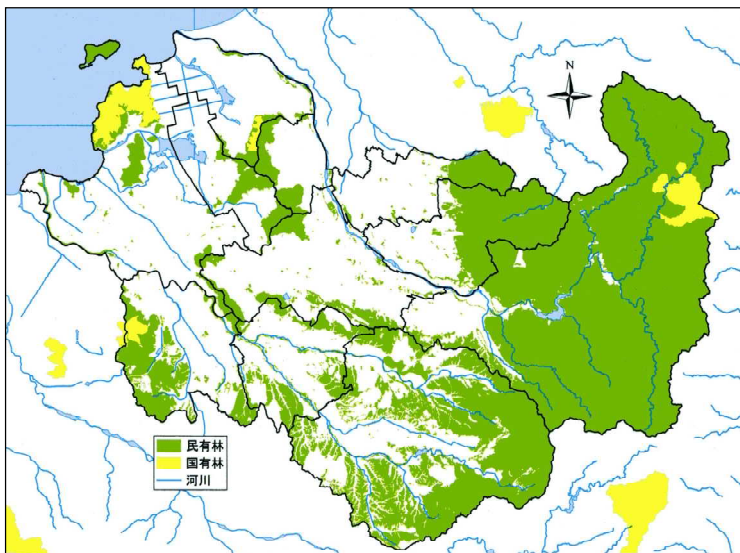
約10haの雑木林の整備が実施されました。

日野町村井「太田山」

約4haの里山では竹の整理や歩道の整備が実施されました。その後の管理をボランティアで行うため「太田山を守る会」が組織されています。



【東近江・琵琶湖森林づくり県民税事業 MAP】



凡例

- ...環境林整備事業
- ...里山リニューアル事業
- ...県民参加の里山づくり事業
- ...木の学習機整備事業
- ...みんなで始めよう森づくり活動公募事業
- ...森林環境学習「やまのこ」事業

2030年 あなたならどっち？

今から23年後の滋賀県ってどうなっているんでしょう？このまあいっただらA？それともB？どちらに進むかは、今の私たちの選択にかかっているのかも？

A



B



漫画・オノミユキ



楔（くさび）



楔は堅くて尖った形をしていて、木や石を割る道具として使われている。「楔を入れる」なんて言葉も使われるように破壊的なイメージがある。木を伐るときも、木を思った方向に

倒すために楔を使う。ノコギリやオノの切り口に打ち込んで木を倒すのだが、決して切口を無理矢理こじ開けるために使うのではない。切口を少し持ち上げて重心を反対側に傾ける。それによって、木は自分の重みでゆっくりと倒れてくれる。押ししたり引いたり力づくではないので、倒す木にも周囲にも余分な力はかからない。つまり、倒す木と周囲をなるべく傷つけない方法である。意外と優しさを秘めた道具である。すまし顔からつぶやきが聞こえてくる。見かけじゃないのよ (コラム担当 ガ)

編集後記

今回は、平成18年度から皆さんにご負担いただいている琵琶湖森林づくり県民税の特集としました！どんなことに使われているのか？どこで使われているのか？そんなことが少しでも伝えられれば幸いです。今回紙面を拡大しましたが、それでも全ての事業を紹介出来ませんでした。申し訳ありません。大切な税金を無駄にしないように、頑張りたいと思います！！今年は冬らしい冬でした。山では雪解けが待ち遠しい... (編集担当 山口)